

やまばと通信

多摩市立図書館 情報誌 184号

雨音をBGMに
読書を…

- 1P 「はじめてのよみきかせ」
「図書館主催講座のお知らせ」
「食べる「ことを育む本」

- 2P 「各館の展示コーナー紹介」
「本館試行延長のお知らせ」
「データベース利用講座予告」
「市民連絡会議の参加者募集」
「マナーアップキャンペーン」

～雨の日のお願い～



諏訪在住の 仲林 彩さん から梅雨の時期にぴったりの 素敵なイラストをいただきました！

図書館主催講座 はじめてのよみきかせ

「この4月から学校でよみきかせを始めました。」「絵本のよみきかせをしてみたいんだけど…。」
学校や図書館などで、複数の子どもたちへのよみきかせを始めた、もしくは始めてみたいとお考えの初心者の方向けの講座です。

図書館の子ども読書支援担当者が、やさしく・わかりやすく よみきかせの基本的な技術をお教えし、実際に絵本を手にとって、よみきかせの体験もしていただきます。

どうぞお気軽にご参加ください。

日時：2010年7月15日（木）10時～12時

場所：多摩市立図書館（本館）2階講座室

定員：30名 電話申込・先着順

2010年は、国民読書年。
よむことをひろげよう！

多摩市立図書館



ただし、多摩市在住・在勤・在学の方および活動拠点が多摩市内の方優先

申込・問い合わせ：子ども読書支援担当（下記電話番号）9時30分～17時受付

保育：2歳以上就学前まで お菓子代100円（保育申込は6月30日まで）

多摩市立図書館

〒206-0033 多摩市落合2-29

（電話）042-373-7955

（FAX）042-375-9459

図書館ホームページアドレス <http://www.library.tama.tokyo.jp/>

携帯電話アドレス

<http://www.library.tama.tokyo.jp/i/>

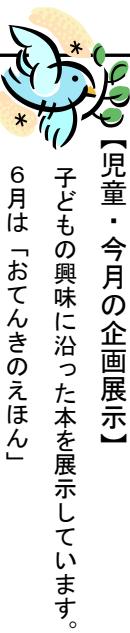
2010年 6月 発行



お立ち寄りください 展示コーナー

図書館では、来館いただいた皆様にさまざまな資料を紹介するため、各種展示コーナーを設けています。新しく図書館に入った本などの常設展示の他、時事・季節の本や図書館職員こだわりのテーマなど、折々に内容が変わる展示も行なっています。6月は全館で「食育」の本を展示しています。

常設展示から隔週¹とのミニ企画まで、各館の展示コーナーをピックアップして「」紹介します。



多摩市立図書館(本館)

常設展示:

【たま市民文庫】

多摩市にゆかりの方々の著作を集めました

【中高生がおすすめする本】

ティーンズがお勧めする本のコーナー

【多摩市立図書館がおすすめする絵本】

図書館がえらんだおすすめの絵本

企画展示:

【今月の企画展示】(6月は「食育」の展示)

【ミニ企画展示】

ほぼ隔週で内容が変わります

【おはなし会の本】

おはなし会のテーマに沿った本を紹介しています

【児童・今月の企画展示】

子どもの興味に沿った本を展示しています。

6月は「おでんきのえほん」

2010年は、国民読書年。 よむことをひろげよう!



多摩市立図書館

常設展示:

【おすすめの本・流行った本】

企画展示:

【おはなし会の本】

【ティーンズ企画展示】

多摩市の中高生がティーンズに
おすすめする作家と作品の展示です

東寺方図書館

企画展示:

【児童企画展示】

おはなし会のテーマに沿った
本を紹介しています。

聖ヶ丘図書館

企画展示:

【児童企画展示】

6月のテーマは「やさい」です

関戸図書館

常設展示:

【おすすめの本コーナー】

企画展示:

【入口展示】

展示期間が異なる2テーマを展示。

【おはなし会の本】

おはなし会のテーマの本を紹介しています

【児童・今月の企画展示】

現在のテーマは「学園生活」です

【児童企画展示】

6月は「たべもの」の本の展示

豊ヶ丘図書館

企画展示:

【今月の展示】

【児童企画展示】



6月のテーマは「かえる」です

永山図書館

企画展示:

【今月の展示】

【入口正面・柱のコーナー】



6月のテーマは「アフリカ」です

【おはなし会の本】

6月は「あめ・みづ」です

聖ヶ丘図書館

企画展示:

【児童企画展示】

おはなし会のテーマに沿った
本を紹介しています。



※ 新着本のコーナーは各図書館にあります。

企画展示の一部は、多摩市立図書館ホームページ（企画展示・行事・企画展示）でご覧いただけます。パスワードをお持ちの方は、各館の展示本の一覧から予約いただけますので、「ご利用ください」。

砂田登志子著 求龍堂 2001



この本によると「食育」という漢字は、その字体から「人を良くする育む」と解釈できるのだそうですが。そして「食べ方上手は一生の得」と著え、「これを体得するのが「食育活動」なのだそうです。よい食べ物を取り、健康で元気でいきいきと生活していく、よい職業や友人に恵まれ、結果として幸福な人生を歩むことができるといふ」とが書かれており、前向きな気持ちになるとともに、食を選ぶことの大切さを漢字の語源をもじって学ぶことができる楽しい本です。

【聖ヶ丘図書館おすすめ】

『きゅうりの声を聞いて』

「食育」実践記



森久美子著 家の光協会 2005

食欲旺盛な一人の男の子を育てる日常の中での食育実践記。きゅうりの声を聞く」とや、イチゴ狩りや田植えなど、料理が口に入るまでのプロセスを五感で感じる体験、「給食の春巻きのほうがおいしい」という話の真実は?なども身近な内容であるだけに納得! 親子の会話をもコミカルですが、泣かせます。食卓に温かいものが上がり、おいしそうな匂い、それを食べるながらの会話から「食育は味覚のふるわとつくり」と言う著者の言葉の意味も、この本を読み終える頃には深く伝わってくる一冊です。【関戸図書館おすすめ】

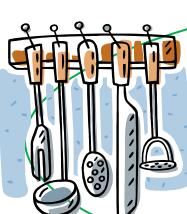
この本によると「食育」という漢字は、その字体から「人を良くする育む」と解釈できるのだそうですが。そして「食べ方上手は一生の得」と著え、「これを体得するのが「食育活動」なのだそうです。よい食べ物を取り、健康で元気でいきいきと生活していく、よい職業や友人に恵まれ、結果として幸福な人生を歩むことができるといふ」とが書かれており、前向きな気持ちになるとともに、食を選ぶことの大切さを漢字の語源をもじって学ぶ」とができる楽しい本です。

【聖ヶ丘図書館おすすめ】

食べるこことを育む本

図書館では、6月の食育月間にあわせて「食育」をテーマに本を展示しています。

今回は 各館の企画展示担当者が、数ある食育の本の中から、この1冊という本を紹介します。また「食育」に関するブックリストも各図書館で配布していますので、併せてご利用ください。



『コンビニおやつ キッズも大好き!』

ちよつと心配い。 食べもの文化編集部



コンビニは、今では私たち大人にとつても無くではないものの。子どもたちにとっては、正にお菓子のお城です。今日はジュース、明日はスナック。簡単でとても便利。

しかし、生まれた時からコンビニが身边にあった子どもたちの体に、コンビニで買えるおやつが様々な影響を及ぼしてきているようです。簡単にいつでも手に入るゆえの弊害があるのでは?「この本ではそんなお手軽さに警鐘を鳴らしています。【豊ヶ丘図書館おすすめ】



『僕(エイ)が鱈(エイ)だった頃』

永六輔著 小学館 1999

エイに関するグッズや情報を長年集めていて、この本は、その30年の成果を

1冊にしたもの。美しい工芸品や楽しいグッズの写真が満載で、水族館から始まって俳句や民話も紹介。加えて、全国の「ジオリスナー」から届いた便りを交え、食材としてのエイを考察しています。酒のつまみの「エイヒン」しか知らない自分が寂しく思えます。

少し大きめの活字と愉快な語り口で、とても読みやすい本です。【東寺方図書館おすすめ】

『いのちをはぐくむ農と食』

小泉武夫著 岩波書店 2008

日本の食糧自給率は39%。農業に従事する人も減っていて、異常気象で外国から食料が入ってこなくなったら…そんな中各地で行われている、農業を活性化するための挑戦が紹介されています。学校給食で地元産の食材を使う割合を増やしていった栃木県の小学校。地元の食材を調理してレストランに出し、お弁当も販売して評判になっている三重県の食物調理科の高校などなど。

中・高校生向きにわかりやすく説明してあります。



【多摩市立図書館・本館おすすめ】

『「分とく山」野崎洋光が求める美味しい方程式の原点』

野崎洋光著 文化出版局 2000

料理人である著者が、家庭でも生かせる料理の仕組みを方程式という形で表現しています。料理を仕事としている為、口も胃腸も疲れている夕食にはゆでただけの野菜を食べるのだとそうです。これが著者のいう「固有名詞の味」。本来の素材がもつ味を大切にするからこそ、料理の方程式ができるのでしょうか。

料理の大きな仕組みや成り立ちを知った上で、方程式通りに作るだけではなく、自分流に料理を簡略、応用してみませんか?

他に『美味しい方程式』『さらに美味しい方程式』もあります。

【永山図書館おすすめ】

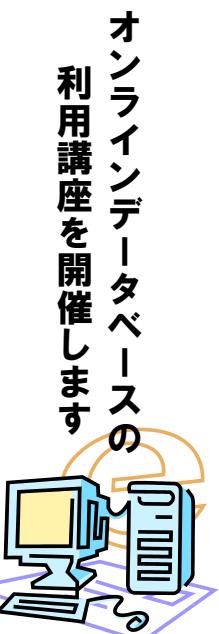
本館・夜間開館の実行延長のお知らせ

多摩市立図書館（本館）では、昨年に引き続き、試行として開館時間の延長を行ないます。

7月2日（金）から8月31日（火）までの2ヶ月間、本館の平日の開館時間が午後7時までとなります。

「ぜひ」利用いただき、「意見・感想をお聞かせください。」意見募集の詳細につきましては、ホームページやチラシ・ポスターで案内いたします。

「協力をよろしくお願ひいたします。



図書館の館内にあるインターネット用端末では、新聞記事や事典類を検索できる「オンラインデータベース」を無料で利用いただけます。

各データベースの内容や、その調べ方をご紹介する講座を7月に実施します。

日程や会場など、詳細が決まりましたら図書館ホームページやチラシなどでお知らせします。どうぞ奮ってご参加ください。

「すべての子どもに読書のよろこびを～多摩市子どもの読書活動推進計画」に基づき、子どもの読書活動を具体的に推進するための各連絡会を開催しています。

市民連絡会議では子どもの読書活動推進計画の具体的な実施について話し合っています。子どもの読書に関心のある方の市民連絡会議への参加をお待ちしています。随時募集をしていますのでお気軽にお問い合わせください。

▽次回の市民連絡会議開催予定

日時：6月29日（火）9時30分～

場所：本館2階講座室

▽問合せ先

多摩市立図書館

子どもの読書活動推進担当
☎(373)7955

マナーマップキャンペーン

ジャンケンでは「紙（パー）」は「はさみ（チョキ）」にかないませんが、もう一つの紙の天敵が「水」です。

毎年梅雨の時期は、じめじめとした天気が続きます。気持ちもつらくなりとしまいますが、紙でできている「本」に水分は大敵、本を濡らしたり極端に湿気の多い場所に置いておくと、ページが水分を吸ってヨレヨレになってしまい、「元に戻す」とできません。

どうぞ雨の日に持ち運ぶ時は、本が濡れないようビニール袋に入れる、また鞄の中で濡れた傘や冷たいペットボトルの隣にならないように仕舞うといつた、お心づかいをお願いいたします。

急な雨で袋をお持ちでない方は、どうぞ窓口にお気軽に声をお掛けください。



Rinさんからイラストをいただきました！
雨の中のアジサイ、素敵ですね。梅雨でも爽やかな日々を過ごしたいのですが…。残念ながらヨレたりシミがついてしまい読むに堪えない本は廃棄処分するしかありません。本を濡らしてしまった方には、弁償をお願いしています。